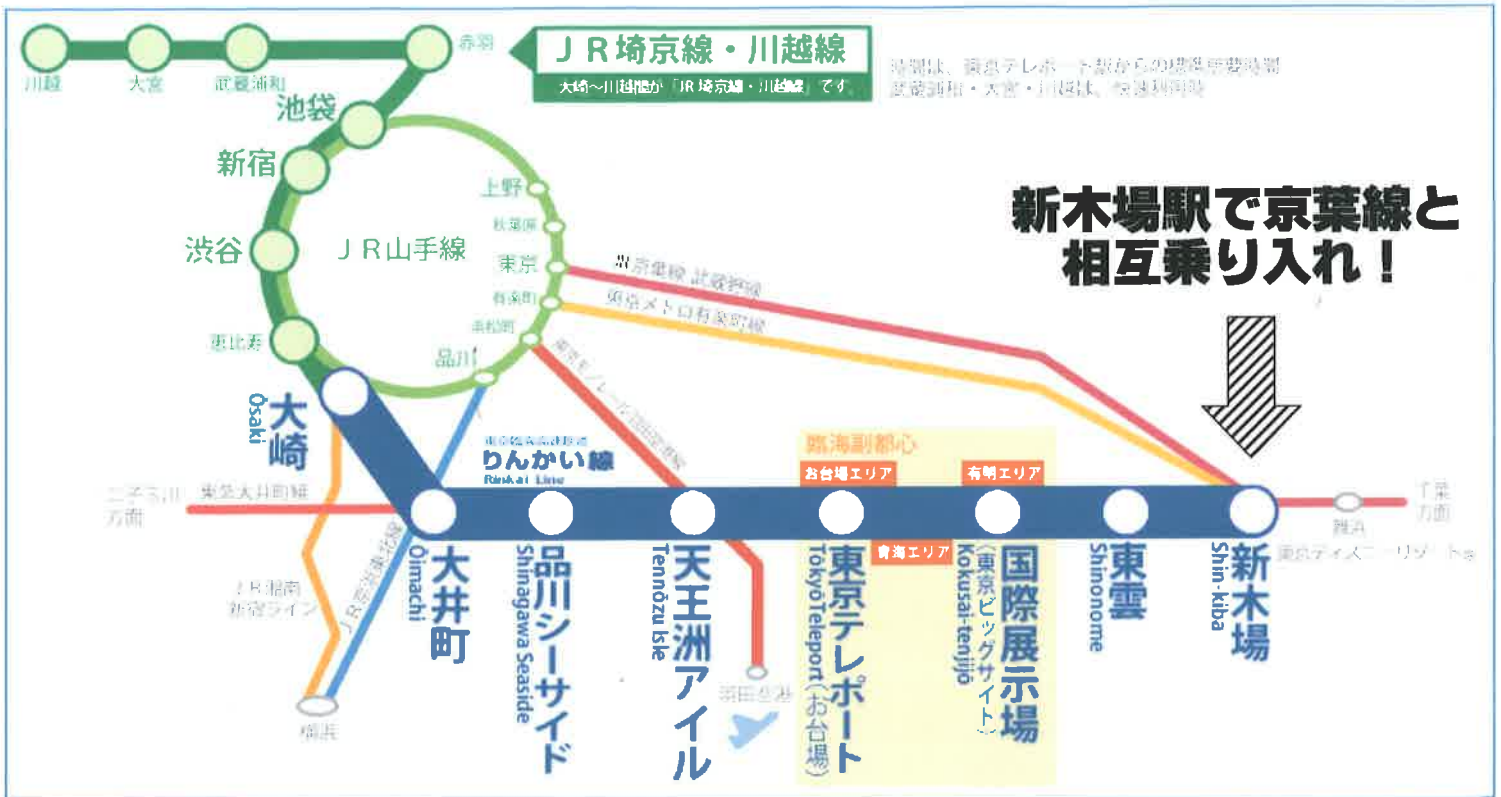


さかい通信 号外

2013年12月

京葉線・りんかい線 直通運転を！



■ホームライナー試行運行！

12月6日(金)、千葉市議会・代表質問において熊谷市長が「今後は、沿線の関係自治体と協力して実態調査やアンケート調査等を検討。更に、この調査を踏まえ効果を検証するための『ホームライナー号』の試行運行を平成28年度を目途に実施したい。」と答弁。かねてより要望をしてきた酒井議員の質問に答えたものです。

■7年後の東京オリンピック・パラリンピックへ向けて！

既に相互直通運転を実施しているJR埼京線とりんかい線。そこにJR京葉線が乗り入れることにより3路線が一体的につながり、蘇我から新木場・大崎・渋谷・新宿・池袋・赤羽という、千葉から臨海副都心を経由して埼玉方面へのアクセスが格段に向上します。

2020年の東京五輪・パラリンピックは臨海副都心の有明が中心の舞台であり、実現が期待されるところであります。

市政に関するご意見、ご要望など、みなさまの声をお聞かせください。

千葉市議会議員

酒井 伸二

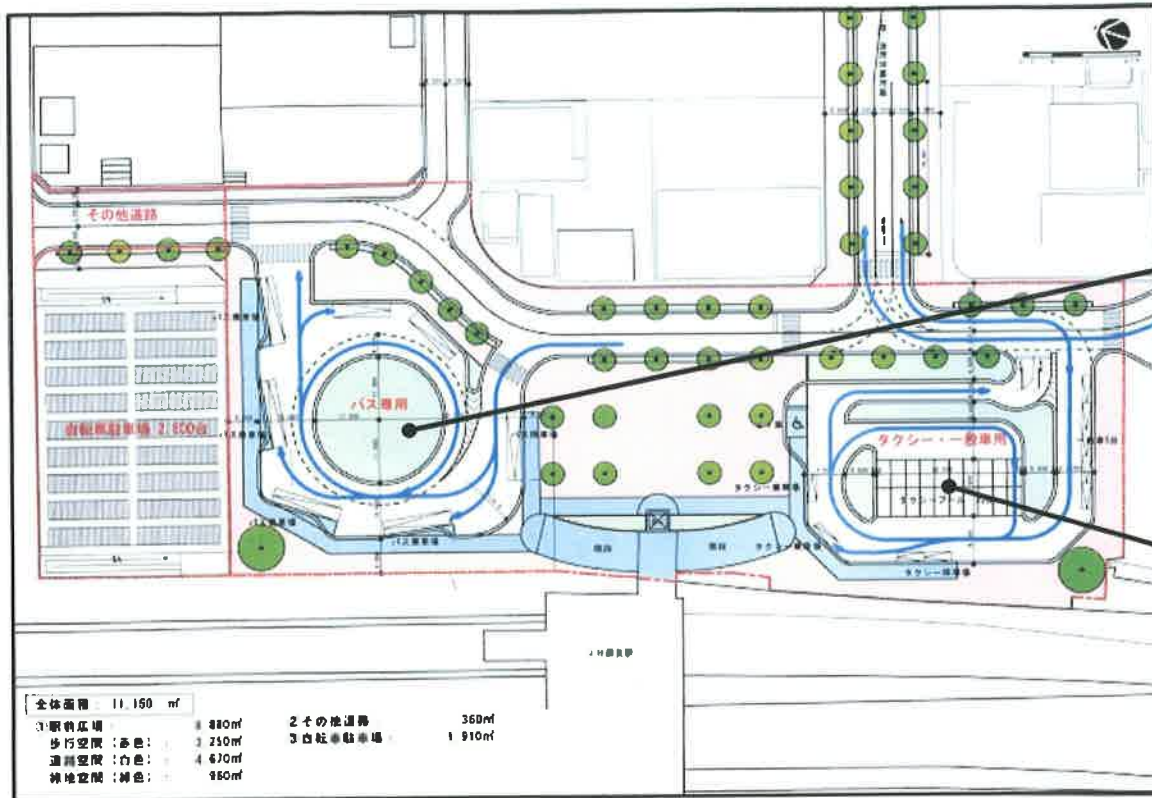
〒260-0822 千葉市中央区蘇我3-5-14

Tel/Fax.043-268-7120

http://chibashi.com e-mail:sakai@chibashi.com



蘇我駅東口・駅前広場再整備へ！



再整備後のイメージ

新たに拡張されるロータリー

現在もあるロータリー

同じく酒井議員の代表質問において、JR蘇我駅東口の広場再整備についても前向きな答弁がありました。

■ 事業着手へ前進！

「広場に隣接した地権者に対し意向調査を実施したところ、以前は反対であった地権者からも事業化に対し概ねの理解が得られた。」

「来年度に基本計画を取りまとめ、平成27年度に都市計画決定を行うことを目指し、事業着手に取り組んでいく。」との答弁がありました。

■ 再三の訴えが実る

本事業については、平成19年、平成24年の一般質問を始め、様々な機会を通じ、政令市移行前から変わり映えしない広場の拡張を訴えてまいりました。

「副都心・蘇我」の玄関口として、より便利で周辺地域に活力をもたらす駅に生まれ変わることに期待がかかります。

2013年(平成25年)12月7日(土曜日)

千葉

蘇我駅東口広場再整備へ

15年度中にも都市計画決定

12月定期市議会の代表質問は6日行われ、市はJR蘇我駅中央区(東口)の東口広場拡張再整備する方針を明らかにした。市では来年度中に基本計画をまとめ、2015年度中にも都市計画決定する方針。

蘇我には内房、外房、業ビルが並び、広場内には整備され、駅乗降客の増加が見込まれることから「広場の拡張整備が必要」と述べた。市では今年6月9日、広場周辺の地権者に意向調査を実施し、再整備に向けては概ねの理解が得られたと指摘。今後も以前は反対の意向を示していた地権者からも、おおむねの理解が得られたといたした。調査やアンケート実施を検討している。

16年度をめどに試行運行を目指す

熊谷市長は直通運転が実現すれば、蘇我から新木場を経由して渋谷や新橋、埼玉方面へのアクセスが格段に向上すると説明。鉄道「JR京葉線と東京臨海副都心線」を「ホームライナー」号による試行運行を目指す方針を明らかにした。ICカードでの運賃徴収も検討中。10カドでの運賃徴収も検討中。

市では来年度中にも京葉線沿線の自治体を協力し、未開通区間は小田求議議員、新大塚駅と東京駅での乗換機を設置する方針が代表質問で示された。

公明党の選挙区議員、熊谷市長は、中央区の市

12月7日付・千葉日報に掲載された記事